

2022（令和4）年度

京都大学教育学部
学士入学
試験問題

※選択されなかった外国語科目については掲載していません。

京都大学教育学部
学士入学試験問題

外国語

英語

注意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英語

I. 次の文章の下線部をすべて和訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Cacioppo,J.T.& Patrick,W.(2008). *Loneliness:Human nature and the need for social connection*. W.W.Norton & Company.の4頁35行目～5頁26行目を引用した。

なお、下線部は、5頁4行目の「When people」から始まり5頁17行目「known as loneliness.」までの文を指す。

II. 次の文章の下線部(1)～(3)をすべて和訳しなさい。(1)については、二重下線部itの内容を具体的に訳に含めること。なお、それぞれ解答の最初に(1)～(3)の番号を記入すること。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Conrad,S.(2016). *What is Global History?* Princeton University Press. の57頁7行目～59頁7行目を引用した。

なお、下線部(1)は、57頁12行目の「It is all」から「a globalizing world.」までの2つの文を、下線部(2)は、57頁26行目の「The version of」から始まる1つの文を、下線部(3)は、58頁32行目の「Even the breakdown」から「reference point for others.」までの2つの文を指す。

また、二重下線部は、57頁13行目の「it」を指す。

【問題文】

(問題文略—問題用紙2頁目の後掲<注意>を参照のこと)

京都大学教育学部
学士入学試験問題

一般教育科目

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 問題Ⅰは現代教育基礎学系、問題Ⅱは教育心理学系、問題Ⅲは関連教育システム論系からの出題である。計3問のうち、入学志願票に記入した第1志望系と第2志望系の問題、計2問を必ず選択すること。志望系の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

一般教育科目

次のⅠ～Ⅲの3問のうち、入学志願票に記入した第一志望系と第二志望系の問題、計2問を選択して解答しなさい。

(100点(50点×2問))

(現代教育基礎学系)

- Ⅰ. 教師と子どもの教育関係において、信頼は要であると言われる。しかし同時に、校則や宿題は教師が子どもを信頼していないから課せられるものであるという指摘もある。教育において信頼はどのような役割を担っているか、論じなさい。

(教育心理学系)

- Ⅱ. 対人コミュニケーションについて、(A) 実験心理学と、(B) 臨床心理学において、どのような研究が行われてきたのか、それぞれについて具体的な例を2つずつ挙げて、説明しなさい。

(関連教育システム論系)

- Ⅲ. 日本を含む国ぐにのなかから1つを選び、就学前教育・保育に関する改革の動向と、そうした改革が進められる社会的背景について、論じなさい。